

明治期測量隊による劔岳初登頂



劔岳 点の記

出演 浅野忠信 香川照之 松田龍平 仲村トオル 宮崎あおい 役所広司

監督 木村大作

6月20日公開

www.tsurugidake.jp

(C) 2009『劔岳 点の記』製作委員会

新田次郎原作の『劔岳 点の記』が、木村大作監督の下で映画化され、この6月に公開されます。

以前、このコラムで少しだけ紹介したように、地図・測量人の間では、宮沢賢治や森鷗外、夏目漱石、寺田寅彦といった明治期の文豪が地図の愛用者であり、測量・地図とかかわり深い人であったことはよく知られています。

そして、村上春樹の『ノルウェイの森』には、「卒業後は国土地理院で働きたい」という地理学専攻の学生がいて、主人公が「・・・確かに地図作りに興味を持った人間が少しぐらいいないことには—あんまりいっぱいいる必要もないけれど—それは困ったことになってしまう」、という一節があるのもよく知られています。

このような名作の断簡が、地図・測量人の中で話題になるくらいに、地図・測量とその技術者がテーマになった小説は少なく、新田次郎の『劔岳 点の記』は測量技術者が主人公になった唯一の作品です。

しかし、『劔岳 点の記』は、『強力伝』や『聖職の碑』といった新田次郎の類似作品に

比べても、一般の方々にはなじみが少ないでしょう。

内容は、映画や原作にありますから詳細の紹介はしませんが、国土地理院の前身である陸軍参謀本部陸地測量部職員 柴崎芳太郎の測量隊が、当時死の山・針の山と恐れられていた未踏峰の劔岳に、山岳会に先駆けて登頂し、測量に必要な三角点の設置を目指すという話です。そしてついに劔岳登頂に成功します。

制作にあたった木村大作監督のお話を聞く機会があったのですが、彼の言葉に『ただ、地図を作るためだけに、献身しているのはなぜか』、当事者であっても、この問いには容易には答えられないだろう。しかし、決して名誉や利のためではない、彼らの仕事への情熱に感動し、映画化を決めた』と言っていました。

作品自体は、ひいき目な私たちから見ても地味な内容です。しかし、そこには「だれも英雄になろうとしない、今風に逆行するものだが、測量師の姿を借りて、人間の仕事に対する情熱や感動を伝えたい」と監督に言わせるほど、ただ寡黙に仕事に向かう測量師の姿があります。

主人公柴崎芳太郎をはじめとする明治期測量師は、ひたすら目的の測量や地図作成を目標にしたのであって、あからさまに山岳会と競って初登頂を目指したのではないと思います。

そして彼は、明治40年7月の劔岳登頂時に山頂付近で、本作品の焦点となる「銅錫杖頭」（重要文化財 富山県立山博物館）を発見します。ところが、それ以前の明治39年にも福井県吉野郡吉野村（当時）の山中で石棺を発見したと、部内研究誌に報告しています。測量中に2度も文化財の発見をするという、珍しい体験の持ち主でした。

私たち測量地図技術者は、柴崎芳太郎という測量技術者を通して、地図と測量の仕事と、その技術者に光が当てられることが、ただただ嬉しく思っています。ありきたりですが、地図・測量人は本作品を応援します。ぜひ、皆さんも『劔岳 点の記』をご覧ください。

【散歩の途中で】

「柴崎ゆかりの品と立山周遊」

- ・ 富山県立山博物館 （柴崎芳太郎発見の劔岳錫杖所蔵）
富山県中新川郡立山町芦峯寺 93-1
- ・ 宇奈月温泉
富山県黒部市宇奈月温泉
- ・ 黒部峡谷鉄道
富山県黒部市黒部峡谷口 11 番地
- ・ 立山カルデラ砂防博物館
富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂 68
- ・ 立山ロープウェイ
富山県中新川郡立山町芦峯寺
- ・ 立山室堂平
富山県中新川郡立山町芦峯寺

・黒部ダム

富山県中新川郡立山町芦峯寺

間宮海峡発見から 200 年

間宮林蔵（1780?-1844）が、カラフト（当時は、サハリンと同一であることが明らかでなかった）のナニオーという町から海を渡り、対岸に到達して、（間宮）海峡の存在を確実にしたのは、文化6（1809）年の春のことでした。

ですから、今年は、林蔵が間宮海峡を発見してから 200 年の節目の年にあたります。

彼については、過去には「教科書（国語読本）」に取り上げられ、『間宮海峡』という唱歌もありました。

今、彼の評価はどのようなのでしょうか。

地理学的大発見である「間宮海峡」を発見した探検家として、教科書にはそれなりに取り上げられてはいるのですが、伊能忠敬ほどに脚光を浴びてはいません。

あの「大日本輿地全図」の蝦夷地北半分は、紛れもなく林蔵の実測結果によっているのですが（1819 年以降の測量）、単に「伊能図」と呼ばれています。残念なことです。

そして、最大の成果である間宮海峡発見のいきさつなどは、よく知られていますから、最晩年の林蔵について紹介しましょう。

平戸城主の松浦静山は、有名な日記「甲子夜話」の中で、その後の林蔵について次のように記しています。

「その後は、天文地理の書を読み、もとより妻子も無く、家にはわずかな甲冑や着替えのほかには、当面の武具と兵書だけであって、この身分のものにしては、まれなる志のある者である。又、御勘定奉行密使の命を受けて、各地の御用を勤めているので、在宅することも少なく、ただ一人雇われ婆がいて留守を預かっている」

この記述のように、蝦夷地探検の後には、秘密裡に各地を巡り、異国船渡来や密貿易などに係る内偵を進めていました。そして、林蔵が正式に結婚したという記録はなく、死に際して林蔵は、次のように語ったといえます。

「私が、亡くなった後は日ごろ秘蔵している地図などが外国人の手に入渡らないように、すべて焼き捨ててほしい」と。

遺志にしたがって、林蔵の遺骸は子どもころに学び遊んだ、ふるさとの専称寺（現茨城県つくばみらい市）の墓地に葬られましたが、そこには、二つの質素な墓が並んでいて、左は林蔵直筆といわれる「間宮林蔵墓」の文字が刻まれたもの、右手には両親の墓があります。

ところが、今では風化してよく読み取れませんが、林蔵の墓の右面には林誉妙慶信女、左には養誉善生信女という二人の女性の戒名が刻まれているといえます（「間宮林蔵の再発見」大谷恒彦著、筑波書林）。さて、この女性たちは誰なのでしょう。林蔵所有の品々は公儀に没収され、私物も多くは焼き捨てられましたから、残されたものは少なく、詳しいようすは分かっていません。

林蔵は一生涯、測量や探検、そして探索などに明け暮れましたから、通常の家生活を営むことは適わなかったと思われる。

しかし、一説には後年「りき」という内妻がいたのではないかとわれ、その「りき」

こそが、前述の「雇われ婆」で、後に正妻になったのではないか？ また、蝦夷地滞在の際に知り合った若いアイヌの娘がこの地に来ていた。しかし、彼女は正妻となることは適わなかったのではないか、という話もあります。

一方、蝦夷地探検後の公儀の仕事、シーボルト事件での対処などからは、謹厳実直な林蔵が思い浮かびます。しかし、残された手紙などには、一人っ子であった林蔵が、ふるさとの老父母をしきりに気にかけるようすが見えます。そして、これらの女性の影を知るにつけ、心休まる場所を求めている林蔵がいるようにも思われて、俗人は安堵します。

最後になりますが、間宮林蔵は間宮海峡を発見しただけの人ではなく、樺太を含む北方地域の民俗を調査し、正確な地図を作った地図測量技術者でもあったことを紹介しておきます。



間宮林蔵の墓



間宮林蔵の生家

【散歩の途中で】

間宮林蔵の足跡をたどる

- ・ 間宮林蔵生家と間宮林蔵記念館
茨城県つくばみらい市上平柳 64
- ・ 間宮林蔵の墓
茨城県つくばみらい市上平柳 5 専称寺
- ・ (もう一つのお墓) 間宮林蔵蕪崇之墓
東京都江東区平野 2-7-8 先 都指定旧跡
- ・ (サハリンを見据える) 間宮林蔵の像
北海道稚内市宗谷岬

地図の中の森

地図は、地球上の事象を紙などに表現したものです。したがって、そこには、道路や鉄道、建築物といった人工物のほかに、地球の凹凸をしめす「地形」や地上を覆う植物をあらわす「植生」といった自然物も表現されます。

その植生ですが、下記のような植生記号と呼ばれるもので表現されます。でも皆さんは、地図を読むときに、針葉樹や広葉樹の記号を気にかけてことがありますか？



針葉樹と広葉樹の記号

(平成 14 年式 2 万 5 千分 1 地形図図式から)

植生記号の身近な利用者といえば、少ない勉強量で高得点が得られそうだからと「地理」を選択した受験生ぐらいで、「気にしたことはありません」「知りませんでした」という答えがほとんどでしょう。

その受験生も知らない高度な地図知識？を紹介しましょう。

現在の森を表す地図記号には、上記の針葉樹と広葉樹のほかに、竹林、ヤシ科樹林、ハイマツ地、荒地などがありますが、その昔をたどってみると下記のような記号もあります。



杉・檜・竹・雑樹林

(明治 17 年 仮製二万分一地形図記号から)

線の太い細いを使い分けて、それぞれの樹木の特徴を表現しています。そして、記号の大小、記号の配置密度も変えて、森全体のようなすをそれらしく表現してきました。

高々大きさ 1 ミリ程度の植生記号が書き込まれた地図からは、森のようすが一目でわかるというものです。

「地図記号のはじめは、なんと美しかったのだろう」と思いませんか。このように過去と現在のそれを見比べてしまうと、今の地図記号はいかにも不細工に感じますね。

そして、下記は針葉樹の森を表現しています。ですが、少しだけ気になることはありませんか。針葉樹記号の下部にある横にならんだ点は、樹木の影のようなものだとして、記号の中間にも点が書かれています。これは何を意味するのでしょうか。



〇〇〇〇?な針葉樹林（明治42年式 地形図図式から）

針葉樹林に限らず、それぞれの樹木や湿地などの記号の中に、「点」が配置された地域は、「(兵隊が) 通過困難」であることを示しています。正解は、「通過困難な針葉樹林(帯)」で、地図が軍用であった証拠といえます。

【散歩の途中で】

- ・北限のブナ林
黒松内町ブナセンター
北海道寿都郡黒松内町字黒松内 512-1
- ・根羽村の杉
根羽村月瀬の大杉
長野県下伊那郡根羽村平
- ・やんばるの森
やんばる野生生物保護センター
沖縄県国頭郡国頭村比地 263 番地の 1

地図の中の里



「既耕地」に区分される畑と果樹園の記号



「未耕地」に区分される針葉樹と広葉樹の記号

現在の森を表す地図記号は、針葉樹・広葉樹・竹林・ヤシ科樹林・ハイマツ地・笹地・荒地 7 種類しかありません。しかし、「明治 17 年 仮製二万分一地形図記号」などといった、日本で最初の地図記号には、約 20 種類もありました。それだけではありません。前回も紹介したように、記号の間に「点」を配置して、通過困難な地域を表現し、「縦短線」を配置したところは蔓が多い地域、「横短線」は倒木が多い地域を表現するなど、軍用目的に対応した多様な表現を実現していました。

さて、軍用から離れて、話を里に近づけましょう。

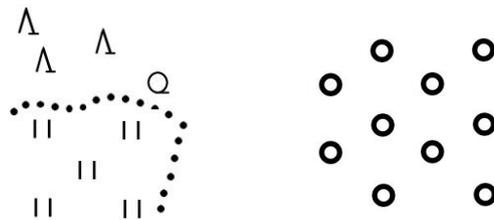
「地図の中の森や里」を表現する植生記号は、地図のきまり「図式」の中では、田や畑といった「既耕地」と、荒地や樹林といった「未耕地」の記号に区分します。

区分する。すなわち、表現が異なるということです。

どのような違いがあるのでしょうか。

国土地理院発行の地形図をよーく見ます。すると下記の図のように、田や畑といった既耕地の界は点線で囲まれています。そして、この点線を「植生界」と呼びます。しかし、針葉樹と広葉樹といった未耕地間の界には、植生界は使われません。

さらに、もう一つ。田や畑の記号は、図のように植生界に囲まれた中に、規則的に配置します。他方、針葉樹や広葉樹なら（過去には大小があって）不規則に配置して書きます。「並べた方がきれいだから」「私は几帳面だから」などといって、規則的に配置するのは許されません。



「既耕地」と「未耕地」

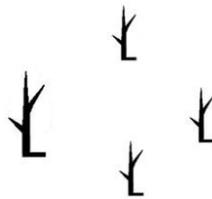
その他の樹木畑

(ここまで、いずれも平成 14 年式 2 万 5 千分 1 地形図図式から)

未耕地相互の界に、植生界記号が使われない理由は、一般的に未耕地では、それぞれの植生が混在し、界も不明確だからです。では植林された、杉林などはどうなるのでしょうか。

残念ながら、一旦未耕地に区分されると、それが、いくら規則正しく植えられていても、その界が明確でも、規則的に配置して書くことも、植生界で囲まれることもありません。

他方、他の樹林との界がやや不明確で、不規則に植えられた栗林や梅林があったとしても、これはれっきとした既耕地（果樹園）ですから、周囲をしっかりと植生界で囲み、果樹園の記号を規則的に配置します。もちろん、整然と植えられているとは思えない庭園用樹木を栽培している「その他の樹木畑」の場合も同様です。



(明治 42 年式 地形図図式から)

では、これまでの説明から推察して、初期の地形図に使われた上の植生記号は何を表したのでしょうか。回答は、次回に掲載します！

【散歩の途中で】

里山や森の風景 2

- ・美山町のかやぶきの里
京都府南丹市美山町北揚石
- ・伊根の舟屋群
京都府与謝郡伊根町平田
- ・真鍋島の黒壁の家並み／真鍋島資料館
岡山県笠岡市真鍋島 4060

【地図の散歩道】 — 地図・測量はじめてものがたり 5 —

地図の中の畑

さて、ここでの知識は、「受験生が知っているも役に立たないものです」と控えめに断りを入れましたが、お読みになった皆さんの感想はいかがでしょう。

著者としては、内心のところ、雑学王となるための知識、いや地図雑学クイズ製作者としての知識にくらいはなと思っています。

さて、言い訳はこのくらいにして、本題に入りましょう。

田や畑へと話を進めます。

地図は初め、軍用を目的として始まりました。

ですから、「地図の中の森」のところでも紹介したように、過去の地図には、兵隊が容易

に通れるか、遠くまで見通せるか、戦車が渡れるかなどが判断基準になっている決まりが多くありました。

下の図は、私たちになじみの、稲の切り株を模式化した「田」の記号です。

その、田んぼなのですが、かつては、乾田、水田、沼田のように区分されていました（昭和30年図式まで）。

||

田の記号（平成14年式 2万5千分1地形図図式から）

|| ||| |||

乾田、水田、沼田

（明治17年 仮製二万分一地形図記号から）

短い線が1本ずつ書きくわえられるだけですが、そこからは稲作文化の国らしい、細やかな表現が感じられます。さらに、軍用図としては、下記のように理解されて利用されてきたはずですが。

乾田なら、刈り取り前以降は、水も抜かれて自由に歩くことができる。

水田は、いつでも水があるので、行動はやや困難である。

沼田は、膝や脚が埋もれるほどの状態になって、まったく行動できない。

後者はそれぞれ、短い線が1本書き加えられただけで、これだけ意味が異なります。

地図記号には、行動判断を迅速・容易にするための、視覚に訴える分かりやすい表現が求められたはずですが。

現在の地形図図式にある既耕地の記号は、田・畑・桑畑・茶畑・果樹園・その他の樹木畑のたった6種類だけですが、「明治17年 仮製二万分一地形図記号」といった、最初の地図記号には、約15種類もありました。その中には、花畑・芝畑・三椏畑（みつまたはたけ）・茶畑・櫛畑（こうぞはたけ）といった畑があって、今では耕作地も発見できませんが、その多様さからは、地上のようすを詳細に表現しようとする意気込みが感じられます。

同時に、上記のような行動判断を容易にするための、良いデザインも感じられます。

／／／／／ … … … 人 人 人 ・ ・ ・ 〃 〃 〃
／／／／／ … … … 人 人 ・ ・ 〃 〃
／／／／／ … … … 人 人 人 ・ ・ ・ 〃 〃 〃

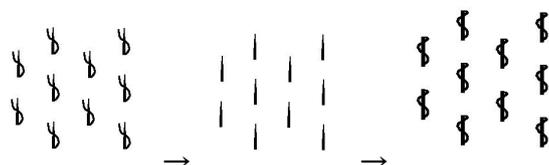
左から花畑・芝畑・三椏畑・茶畑・櫛畑

（明治17年 仮製二万分一地形図記号などから）

では、問題です。年代によりいづらか形が変化しますが、下図の地図記号は何を表した

ものでしょうか。

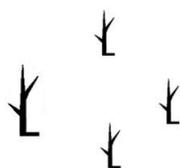
回答は、次回に掲載します！



明治 16 年の図式→明治 18 年の図式→明治 24 年の図式

(前回の答え)

答えは、見た目のままの枯木林・焼木林でした。



前回の問題

【散歩の途中で】

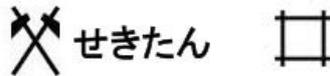
里山や森の風景 3

- ・ 入間郡三芳町の三富新田
(入間郡三芳町三富新田のケヤキ並木と旧島田家住宅)
埼玉県入間郡三芳町大字上富
- ・ 雲仙市国見町の神代小路
(国見町神代小路歴史文化公園・鍋島邸)
長崎県雲仙市国見町神代小路
- ・ 福岡市の和白干潟
福岡県福岡市東区奈多、和白、唐の原など

地図の中の鉱山

現在の教科書地図帳にある「鉱物資源」を表現した日本全図からは、亜鉛、石灰、鉛、硫化鉄、そして金・銀を採掘する鉱山の名称が10か所ほど読み取れる程度のことです。いまさらですが、これほど鉱物資源の少ない国だったのかと驚くばかりです。

これを反映するように、鉱物資源に関連する現在の地図記号は、採鉱地と油井・ガス井の2種類しかありません（そのとき、採掘している鉱種名は、採鉱地の記号に「せきたん」などのように文字を添えて使用します）。



採鉱地（せきたん）と油井・ガス井
（平成14年式 2万5千分1地形図図式から）

ところが、明治期最初の地図記号には、油井・ガス井の記号こそありませんでしたが（井戸の記号はあった）、下記のように、驚くほど多くの鉱山などの地図記号がありました。

当時の日本が、それほど多くの鉱物資源に恵まれていたわけではありませんが、少なくとも大きな期待があったのだと思います。

しかし、国土開発が進むうちに現実を感じたのでしょうか、重要度のバランスからでしょうか、大正6年図式からは多くの記号が姿を消してしまいました。残念なことです。

それどころか、現在ある採鉱地や油井・ガス井の記号は、地図記号全体からみると使用頻度の少ない部類に入り、そのうち廃止されるかもしれません。



金・銀・鉄・銅・錫



石炭・亜鉛・鉛



緑礬・明礬（みょうばん）・玉石（ぎょくせき）

(いずれも、明治 17 年 仮製二万分一地形図記号から)

さて、こうした過去の鉱物関係の地図記号を見ると、「そのいわれ、成り立ちなどがどこにあるのか」と気になりますが、残念ながら著者にも不明です。ご存じの方がいたら教えてほしいものです。

そして、問題です。

明治 24 年の図式には、採鉱地の記号 (左) のほかに、右のような記号も登場します。さて、何を意味するのでしょうか。



(明治 24 年所定 二万分一地形図図式から)

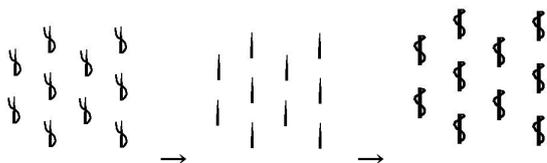
(前回の答え)

答えは、ぶどう畑です。

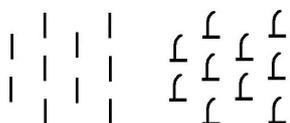
地図記号もヨーロッパから入ってきましたから、このブドウ畑もヨーロッパの風景でよく見られる、支柱が並び立つようすを模式化したものです。

ドイツやイタリアのブドウ畑の記号は、以下のようになっています。

ちなみに、支柱形式のブドウ畑が日本で取り入れられなかった理由は、湿度などによる病気の影響を受けやすいからだそうです。



前回の問題 ?



ドイツ (左) とイタリアのブドウ畑

【散歩の途中で】

日本各地の金山

・佐渡金山

新潟県佐渡市下相川 1305

- ・菱刈鉱山

鹿児島県伊佐市菱刈前目 3844 住友金属鉱山株式会社 菱刈鉱山

- ・鯛生金山

鯛生金山（道の駅） 大分県日田市中津江村合瀬 3750

- ・土肥金山

土肥金山 静岡県伊豆市土肥 2726